

科目名	母性看護学演習 I A Maternity Nursing Seminar I A		担当教員 (研究室番号)	永見 桂子 (102) 大平 肇子 (104)		教員への連絡方法 (メールアドレス)						
履修 年次	1年次 前期	科目 区分	専門科目		選択 区分	領域 必修	単位数 (時間)	3(45)	授業 形態	演習	科目等 履修生	否
												遠隔授業
科目 目的	リプロダクティブ・ヘルス/ライツの視点から、女性のライフサイクル全般にわたる健康問題を的確に診断し、より健康的な生活を支援する看護方法を理論に基づき実践的に探究する。											
到達 目標	1. リプロダクティブ・ヘルス/ライツに関連するライフサイクル各期の女性の身体機能、精神・心理機能の特性を理解し、健康問題の診断と看護方法について実践的に探究することができる。 2. 女性の健康への援助に関する重要課題について関心のあるテーマを選び、研究方法を探究することができる。											
成績評価方法 (基準)	レポート (50%)、プレゼンテーション (40%)、ディスカッションへの参加状況 (10%)											
教科書	必要時、紹介します。											
参考書等	必要時、紹介します。											
受講者への メッセージ	主体的・積極的な取り組みを期待します。											
備考												
回	学習項目			学習内容						主担当 教員	授業 方法	
1回	オリエンテーション 学習内容・方法、到達目標の理解			科目目的、到達目標、学習内容・方法を理解する。 ・今後のスケジュール、学習方法について ・課題学習(文献・事例検討)について						永見 大平	講義	
2回	母性看護の対象理解のための関連理論、 看護実践の支持理論の理解①			母性看護の対象を理解するための関連理論、看護実践の支持理論を活用した援助方法について考察する。 ・文献検討を通して、愛着理論、発達理論などを活用した女性の健康への援助方法を検討する。						大平	講義	
3回	母性看護の対象理解のための関連理論、 看護実践の支持理論の理解②			母性看護の対象を理解するための関連理論、看護実践の支持理論を活用した援助方法について考察する。 ・文献検討を通して、母子・父子・親子関係の理論、役割理論などを活用した女性の健康への援助方法を検討する。						大平	演習	
4回	母性看護の対象理解のための関連理論、 看護実践の支持理論の理解③			母性看護の対象を理解するための関連理論、看護実践の支持理論を活用した援助方法について考察する。 ・文献検討を通して、学習理論、自己効力感理論などを活用した女性の健康への援助方法を検討する。						永見	講義	
5回	母性看護の対象理解のための関連理論、 看護実践の支持理論の理解④			母性看護の対象を理解するための関連理論、看護実践の支持理論を活用した援助方法について考察する。 ・文献検討を通して、危機理論、保健行動論などを活用した女性の健康への援助方法を検討する。						永見	演習	
6回	思春期女性の健康問題の診断と看護方法 の理解①			思春期女性に特有な身体機能、精神・心理機能の特性を理解し、健康問題の診断と看護方法について実践的に探究する。 ・文献学習を通して、思春期女性の健康問題解決に向けた看護職者の役割について考察する。						大平	演習	
7回	思春期女性の健康問題の診断と看護方法 の理解②			思春期女性に特有な身体機能、精神・心理機能の特性を理解し、健康問題の診断と看護方法について実践的に探究する。 ・事例検討を通して、思春期女性の健康問題解決に向けた看護職者の役割について考察する。						大平	演習	
8回	成熟期女性の健康問題の診断と看護方法 の理解①			成熟期女性に特有な身体機能、精神・心理機能の特性を理解し、健康問題の診断と看護方法について実践的に探究する。 ・文献学習を通して、1)、2)に関して、成熟期女性の健康問題解決に向けた看護職者の役割について考察する。 1) 遺伝相談 2) 生殖補助医療						永見	演習	
9回	成熟期女性の健康問題の診断と看護方法 の理解②			成熟期女性に特有な身体機能、精神・心理機能の特性を理解し、健康問題の診断と看護方法について実践的に探究する。 ・事例検討を通して、1)、2)に関して、成熟期女性の健康問題解決に向けた看護職者の役割について考察する。 1) 遺伝相談 2) 生殖補助医療						永見	演習	
10回	成熟期女性の健康問題の診断と看護方法 の理解③			成熟期女性に特有な身体機能、精神・心理機能の特性を理解し、健康問題の診断と看護方法について実践的に探究する。 ・事例検討を通して、3)、4)に関して、成熟期女性の健康問題解決に向けた看護職者の役割について考察する。 3) ドメスティックバイオレンス、マルトリートメント 4) 育児技術支援						大平	演習	
11回	成熟期女性の健康問題の診断と看護方法 の理解④			成熟期女性に特有な身体機能、精神・心理機能の特性を理解し、健康問題の診断と看護方法について実践的に探究する。 ・事例検討を通して、3)、4)に関して、成熟期女性の健康問題解決に向けた看護職者の役割について考察する。 3) ドメスティックバイオレンス、マルトリートメント 4) 育児技術支援						大平	演習	

回	学習項目	学習内容	主担当 教員	授業 方法
12回	更年期女性の健康問題の診断と看護方法の理解①	更年期女性に特有な身体機能、精神・心理機能の特性を理解し、健康問題の診断と看護方法について実践的に探究する。 ・文献学習を通して、更年期女性の健康問題解決に向けた看護職者の役割について考察する。	永見	講義
13回	更年期女性の健康問題の診断と看護方法の理解②	更年期女性に特有な身体機能、精神・心理機能の特性を理解し、健康問題の診断と看護方法について実践的に探究する。 ・事例検討を通して、更年期女性の健康問題解決に向けた看護職者の役割について考察する。	永見	演習
14回	老年期女性の健康問題の診断と看護方法の理解①	老年期女性に特有な身体機能、精神・心理機能の特性を理解し、健康問題の診断と看護方法について実践的に探究する。 ・文献学習を通して、老年期女性の健康問題解決に向けた看護職者の役割について考察する。	永見	講義
15回	老年期女性の健康問題の診断と看護方法の理解②	老年期女性に特有な身体機能、精神・心理機能の特性を理解し、健康問題の診断と看護方法について実践的に探究する。 ・事例検討を通して、老年期女性の健康問題解決に向けた看護職者の役割について考察する。	永見	演習
16回	専門領域の重要課題に関する文献検討①	専門領域の文献抄読と討議を通じて、自らの研究課題の明確化を図り、看護実践の改善・充実に向けた活用方法について考察する。	永見 大平	演習
17回	専門領域の重要課題に関する文献検討②	専門領域の文献抄読と討議を通じて、自らの研究課題の明確化を図り、看護実践の改善・充実に向けた活用方法について考察する。	永見 大平	演習
18回	専門領域の重要課題に関する文献検討③	女性のライフサイクル全般にわたる健康問題への看護方法の臨床応用妥当性について、理論的考察を深める。	永見 大平	演習
19回	専門領域の重要課題に関する文献検討④	女性のライフサイクル全般にわたる健康問題への看護方法の臨床応用妥当性について、理論的考察を深める。	永見 大平	演習
20回	研究方法論選択のための知識やスキルの修得①	女性の健康への援助に関する重要課題について関心のあるテーマを選び、量的研究の研究方法を探究する。	大平	演習
21回	研究方法論選択のための知識やスキルの修得②	女性の健康への援助に関する重要課題について関心のあるテーマを選び、量的研究の研究方法を探究する。	大平	演習
22回	研究方法論選択のための知識やスキルの修得③	女性の健康への援助に関する重要課題について関心のあるテーマを選び、質的研究の研究方法を探究する。	永見	演習
23回	研究方法論選択のための知識やスキルの修得④	女性の健康への援助に関する重要課題について関心のあるテーマを選び、質的研究の研究方法を探究する。	永見	演習